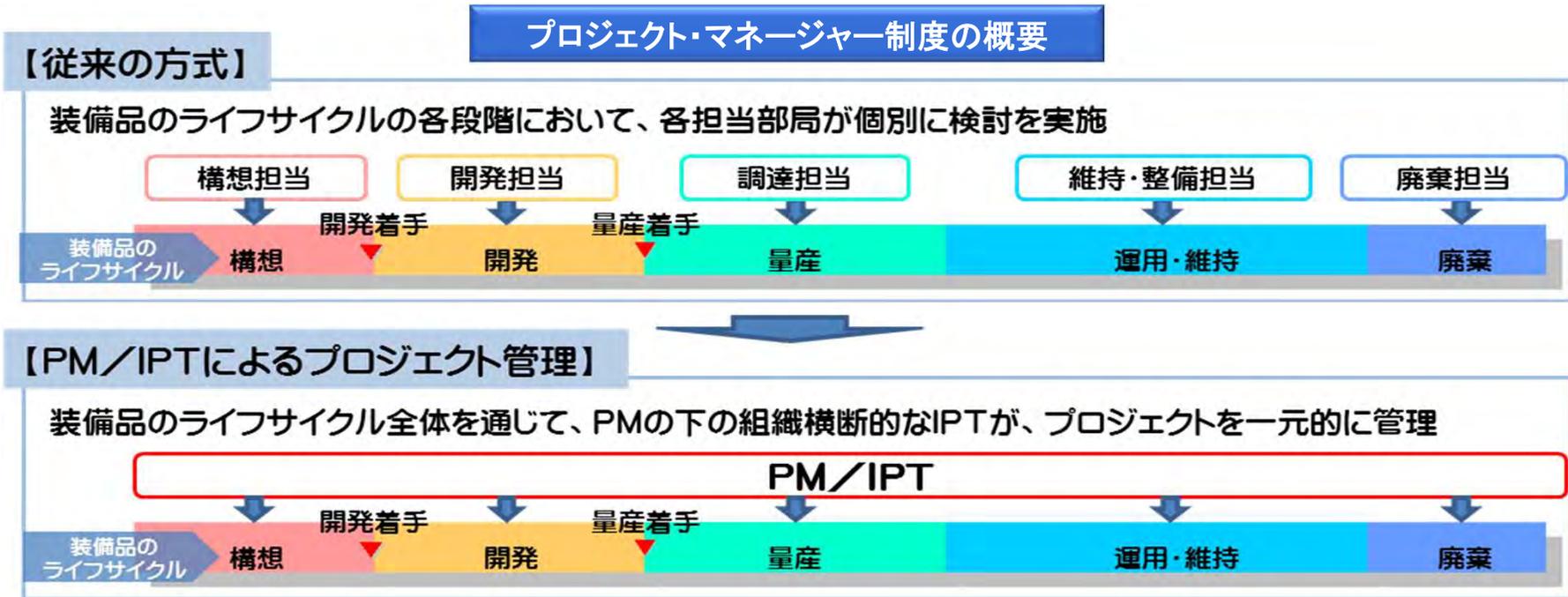


防衛力の能力発揮のための基盤(4)

6 装備品の効率的な取得

- **プロジェクト・マネージャー制度を導入**し、プロジェクト管理を強化。更なる長期契約の導入の可否等を検討
- **民間能力の有効活用等による補給態勢の改革**により、即応性・対処能力の向上を目指す。**取得プロセスの透明化及び契約制度の適正化**を不断に追求



7 研究開発

- 新たな脅威に対応し、**戦略的に重要な分野**において技術的優位性を確保し得るよう、**中長期的な視点に基づく研究開発を推進**
- 大学・研究機関との連携の充実等により、**デュアルユース技術を積極的に活用**

防衛力の能力発揮のための基盤(5)

8 地域コミュニティとの連携

- 地方公共団体を始めとした関係機関との緊密な連携は、防衛施設の効果的な整備及び円滑な運営のみならず、自衛官の募集、再就職支援等の確保といった観点からも極めて重要
- 平素から地方公共団体や地元住民に対し、積極的な広報等を行い、その理解及び協力を獲得
- 地方によっては、自衛隊の部隊の存在が地域コミュニティの維持・活性化に大きく貢献しており、**部隊の改編や駐屯地・基地の配置に当たっては、地方の特性に配慮**。駐屯地等の運営に当たっては、**地元経済への寄与に配慮**

9 情報発信の強化

- **国内外の理解**を得るため、**戦略的な広報活動**

10 知的基盤の強化

- **教育機関等における安全保障教育の推進**

11 防衛省改革の推進

- **防衛省の業務・組織を不断に見直し、改革を推進**



地方公共団体に対する防衛白書説明



英文広報
パンフレット
「Japan
Defense
Focus」



安全保障国際シンポジウム
(防衛研究所主催)

VI 中期防衛力整備計画

(平成26年度～平成30年度)

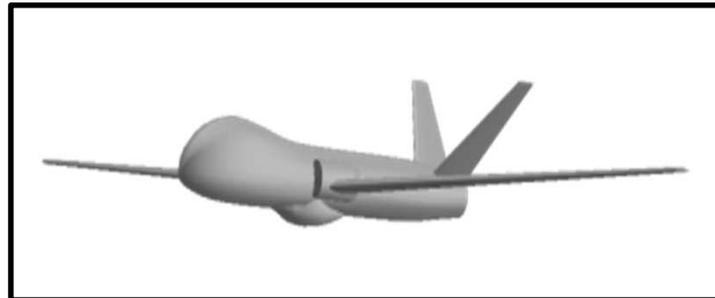
26中期防における主要な防衛力整備

～周辺海空域における安全確保～

- **新たな早期警戒(管制)機の導入(4機)**
- **滞空型無人機の導入(3機)**
- 固定翼哨戒機(P-1)の着実な整備(23機)
- 護衛艦の着実な整備(5隻)(イージス艦(2隻)、**多様な任務への対応能力の向上と船体のコンパクト化を両立させた新たな護衛艦(2隻)の導入を含む。**)
- 潜水艦の着実な整備(5隻)



早期警戒(管制)機 (イメージ)



滞空型無人機 (イメージ)



新型護衛艦(イメージ)

→ 広域において常続監視を行い、各種事態等の兆候を早期に察知する態勢を強化

※ 青字は、新たに整備導入等する装備品又は、新編する部隊

26中期防における主要な防衛力整備

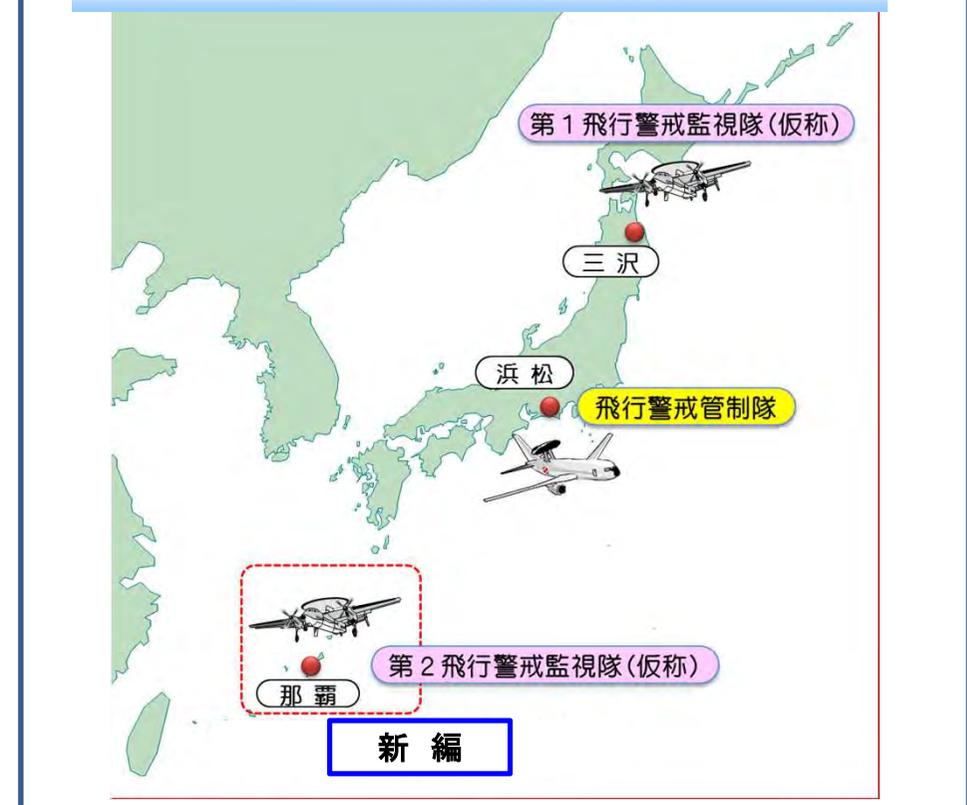
～島嶼(しよ)部に対する攻撃への対応(常続監視体制の整備)～

- ・ 与那国島に沿岸監視部隊を配備
- ・ 警戒航空部隊に1個飛行隊を新編し、那覇基地に配備
- ・ 移動式警戒管制レーダーの展開基盤を南西地域の島嶼(しよ)部に整備

与那国島への沿岸監視部隊の配置



航空警戒管制部隊の体制



→ 常続監視に必要な体制を整備し、事態発生時に迅速に対処

26中期防における主要な防衛力整備

～島嶼(しよ)部に対する攻撃への対応(航空優勢の獲得・維持)～

- 戦闘機(F-35A)の着実な整備(28機)
- 既存の戦闘機の能力向上
- 新たな空中給油・輸送機の導入(3機)
- 那覇基地の戦闘機(F-15)の2個飛行隊化



第5世代戦闘機(F-35A)



空中給油・輸送機 (イメージ)



戦闘機(F-15)

→ 巡航ミサイル対処能力を含む防空能力を総合的に向上

26中期防における主要な防衛力整備

～島嶼(しよ)部に対する攻撃への対応(海上優勢の獲得・維持)～

- イージス艦の増勢(2隻)【再掲】
- 新たな護衛艦の導入(2隻)【再掲】
- 回転翼哨戒機(SH-60K)の着実な整備(23機)
- 地对艦誘導弾の着実な整備



イージス艦 (イメージ)



回転翼哨戒機(SH-60K)



地对艦誘導弾 (SSM)

→ 常続監視や対潜戦等の効果的な遂行により、周辺海域を防衛

26中期防における主要な防衛力整備

～島嶼(しよ)部に対する攻撃への対応 (迅速な展開能力の向上)～

- ティルト・ローター機の導入(17機)
- 輸送機(C-2)の着実な整備(10機)
- 輸送艦の改修
- 民間の資金等を利用する手法、予備自衛官の活用を含めた民間輸送力の積極活用
- 水陸両用作戦等における指揮統制・大規模輸送・航空運用能力を兼ね備えた多機能艦艇の在り方についての検討



ティルト・ローター機 (イメージ)



輸送機(C-2)



多機能艦艇 (イメージ)

→ 迅速かつ大規模な輸送・展開能力を確保し、実効的な対処能力を向上

26中期防における主要な防衛力整備

～島嶼(しよ)部に対する攻撃への対応(対処能力の向上)～

- 初動を担任する警備部隊の新規配備による南西地域所在部隊の増強
- 水陸両用作戦専門部隊として「水陸機動団」を新設
- 米海兵隊等との共同訓練による本格的な水陸両用作戦能力の速やかな向上
- 南西地域における米軍施設・区域の自衛隊による共同使用拡大
- 各自衛隊間のデータリンク機能の充実



水陸両用戦における海空からの陸上部隊の投入 (イメージ)

→ 水陸両用作戦能力・指揮統制・情報通信体制を強化

26中期防における主要な防衛力整備

～弾道ミサイル攻撃への対応～

- 能力向上型迎撃ミサイル(SM-3 Block II A)の開発推進
- 能力向上型PAC-3ミサイル(PAC-3 MSE)の導入
- 新たな装備品も含め将来のBMDシステムの在り方の検討
- 弾道ミサイル発射手段等に対する対応能力の在り方についても検討の上、必要な措置を講ずる
- 弾道ミサイル攻撃と同時並行的なゲリラ・特殊部隊の攻撃を考慮し、原発が多数立地する地域等において関係機関と訓練実施・原発近傍の展開基盤につき検討の上、必要な措置を講ずる。



イージス艦



ペトリオットシステム

→ 北朝鮮の弾道ミサイル能力向上を踏まえ、弾道ミサイル対処能力の総合的向上を図る。

26中期防における主要な防衛力整備

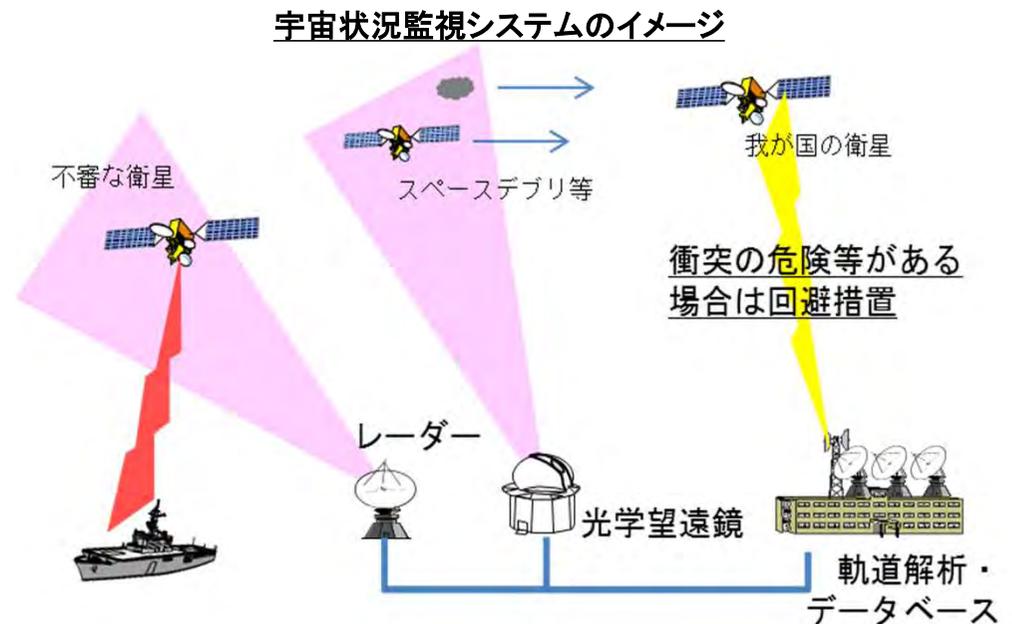
～宇宙空間及びサイバー空間における対応～

宇宙空間

- 高機能なXバンド衛星通信網の着実な整備
- 宇宙状況監視に係る取組や衛星の防護方法に係る研究による人工衛星の抗たん性の向上

サイバー空間

- 実戦的な訓練環境(サイバーレンジ等)の整備等
- 相手方によるサイバー空間の利用を妨げる能力の保有の可能性についても視野



→ 宇宙の利用の推進とサイバーセキュリティを常時確保